

音楽芸能スタッフ科 企画制作コース
1年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養 I	74	2	4
講義	音楽史 I	74	2	4
講義	電気・舞台知識 I	74	2	4
講義	PC知識 I	74	2	4
講義	コンサートスタッフ知識 I	74	2	4
実習	分野別実習 I	74	2	2
実習	プロダクトデベロップメント I	74	2	2
実習	デザイン I	74	2	2
演習	企画制作 I	148	4	8
演習	スタッフワーク I	148	4	8
合計		888	24	42

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>①企業に就職するために必要な知識とスキルを身に付けるための授業を行う。</p> <p>②人として信頼されるための第一印象の重要性、ビジネスマナー(マナーの5原則・敬語・電話対応など)、履歴書の作成方法、面接対策。</p> <p>③卒業後の自分を見据えるためのキャリアビジョンを設定し、実現に向けて何が必要かを考えていく。</p>					
到達目標					
<p>・社会人になるための心構え、教養、作法を身に付け将来の自分、自分の目標を明確にし、その目標に向かってのプランニングをできるようにする。</p> <p>・身だしなみ、挨拶の仕方や正しい敬語の使い方など社会人として必要な一般常識、並びに名刺交換の作法、電話対応、ビジネスメールなどビジネスマナーの応用知識を身につける。</p> <p>・就職活動における履歴書及びエントリーシートの完成度を高めるとともに面接対策なども実施する。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・自分の第一印象は？、信頼印象力 ・キャリアビジョン(目標設定)
【前期】 5～8回目	・マナーとは？、マナーの5原則 ・就活の身だしなみ
【前期】 9～12回目	・敬語とは？(尊敬語、丁寧語、謙譲語、クッション言葉、間違えやすい敬語) ・敬語を使った自己紹介文作成
【前期】 13～16回目	・電話対応。(かけ方、受け方、取り次ぎ方) ・就活についての基本事項、企業研究
【前期】 17～19回目	■前期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自分の第一印象・キャリアビジョンについての自分の考えをまとめたものを記述する。
【後期】 20～23回目	・キャリアビジョン(自己分析) ・自己PR、志望動機作成
【後期】 24～27回目	・履歴書作成 ・エントリーシート作成
【後期】 28～31回目	・一般常識、SPI対策
【後期】 32～35回目	・面接対策
【後期】 36～37回目	■後期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自己PRをまとめたものを記述する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ることで、自分の長所をどのように活かし、短所をどのように変えていけばよいのかについて考え、自己成長につなげて行く。更に、キャリアビジョンについて考えることで自分の目標設定ができ、これからの学内での2年間でどのように過ごすのか、どういう姿勢で授業に取り組むのかを考えることができる。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽史 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、翌年にはビクターエンタテインメントよりメジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。 上記の経験を活かしポピュラーミュージックの歴史についての講義を行う。				
授業概要					
①ジャズやブルースの時代まで遡り、1950年代のエルヴィス・プレスリーや1960年代のビートルズなど、その時代を象徴するアーティストを時代背景と並行して学ぶ。 ②現代のポピュラーミュージックに至るまでの流行や低迷の歴史、並びに変遷を学び一つの事柄(ジャンルや、アーティスト、楽曲等)に対して深く掘り下げ、他との関連性を調べる習慣を身に付け、「知る」という行為、「探究心」を育てる。					
到達目標					
・音楽史を学ぶ事により、数々のジャンルや時代背景についての理解を深め、それぞれの現場において、演者が目指すであろう音楽像を、様々な音楽ジャンルの中より察知し、具体的な提案や、技術提供を通して、音作りや演出等に活かせるよう感性を磨き、担当するアーティストの活動がより良いものとなるよう常に研究・模索する人物であること。 ・音楽業界人の一般教養として、あるいは、音楽についての会話を通じて、円滑なコミュニケーションを図る一つのツールとなる様、その知識を活用できる人物になること。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ジャズ、ブルースの誕生と時代背景の講義。
【前期】 5～7回目	1950年代のロックンロールの誕生などアメリカにおける流行音楽の講義。
【前期】 8～11回目	1960年代のビートルズの登場などイギリスにおける流行音楽の講義。
【前期】 12～14回目	1970年代以降、多様化するロックのジャンルの概要についての講義。
【前期】 15～18回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 19～21回目	ハードロックの流行や多数の派生ジャンルの登場などの講義。
【後期】 22～24回目	1980年代のメタルやポップスの流行、MTVの登場などの講義。
【後期】 25～27回目	1990年代の様々な流行音楽の講義。
【後期】 28～30回目	その他、様々なジャンルについての講義。
【後期】 31～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知ることとはとても重要なことのひとつです。 授業を通して学んだことは、音作りや演出などに直接反映され、将来の仕事に繋げることができます。
備考	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	電気・舞台知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	電気・舞台知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ヤマハ音楽振興会 StudioUIにて長年レコーディングエンジニアとして従事した後、現在は様々なイベントにおいて制作業務や舞台監督として活躍。これまでポピュラーソングコンテスト、世界歌謡祭やドイツのドレスデン室内楽団など国内、国外問わず他多数のイベントに携わる。 上記の経験を活かし電気と舞台に関する講義を行う。				
授業概要					
①演劇、音楽、舞踊、演芸、伝統芸能など舞台業界裏方として会館、公共文化施設、ホール、演芸場、ライブハウス等への出入りの際最低限の電気に関する知識の習得、劇場、ホール等の舞台機構や公演製作等の基礎知識を学び舞台技術基礎を取り入れる事により現場でのコミュニケーションを円滑にし、優れた創造性の基盤をつくりあげる。					
到達目標					
・様々な音響照明舞台現場に於ける一般常識やエンターテインメント業界の裏側の一般的な知識を身に付け校外現場にも対応可能にし社会人として業界人として活躍出来るよう学習する。					
・実際に民間劇場での実習を行い様々な用語舞台設備等の確認、現場にて劇場等での電気に対する理解を深める。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	電気・電流についての講義① ・電気と？
【前期】 5～8回目	電気・電流についての講義② ・感電の恐怖及び対策。
【前期】 9～12回目	電気・電流についての講義③ ・電気極性について。
【前期】 13～16回目	電気・電流についての講義④ ・電流について。
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期講義での知識習得確認の為、穴埋め及び記述式の筆記試験で合否を決める。
【後期】 20～23回目	劇場舞台についての講義① ・劇場舞台での電源の取り方。
【後期】 24～27回目	劇場舞台についての講義② ・劇場舞台照明電源について。
【後期】 28～31回目	劇場舞台についての講義③ ・劇場舞台に必要な電気知識。
【後期】 32～35回目	劇場舞台についての講義④ ・舞台全般電気知識を極める。
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期講義での知識習得確認の為、穴埋め及び記述式の筆記試験で合否を決める。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	舞台裏側の業界は仕事上電気を扱う事は必須です。近年電気事故による大怪我も少なくありません。自分自身の身を守る事にもつながる電気知識の学習にしっかりと励んで下さい。劇場での業務にも支障が出ないように舞台知識も必要な科目です。劇場内の機構やシステムを知り尽くして卒業して頂ければ現場での即戦力に繋がります。
備考	舞台技術の共通基礎

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	PC知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ローディーコース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	ソフトウェア関連企業で10年以上に渡りSE業務に従事。WEBや制御に関するソフトウェア業務を担当する中で、Microsoft Officeを駆使し企画書や設計書など内部資料作成を行う。 上記の経験を活かしコンピューター技術に関する講義を行う。				
授業概要					
パソコンは、生活を便利にするツールとして今日、あらゆるシーンで利用されている。スマートフォン・タブレット全盛の時代だが、ビジネスの世界では業界問わずパソコンを使いこなすことができることが必須項目である。この講義では、パソコンの各部名称といった最も基本的な項目からスタートし、音楽業界だけでなく、現在のビジネスで標準的に利用されているMicrosoft Office(Word/Excel/PowerPoint)ソフトウェアの概要と基本的な使い方を学ぶ。					
到達目標					
<p>・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた文書と同様の文書を作成できることを目標とする。</p> <p>・就職後、ビジネス文書はこれらのソフトウェアのいずれかで作成されていることがほとんどです。したがって、この講義をマスターすることは組織から必要とされる人材の基本的な職務遂行能力の獲得に直結している。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Microsoft Office概要、パソコン操作の基本。
【前期】 5～8回目	Microsoft Excelの基本①(ファイルの作成、保存、簡単な計算など)
【前期】 9～12回目	Microsoft Excelの基本②(簡単な関数、罫線など)、Wordの基本(ファイルの作成・保存)
【前期】 13～16回目	Microsoft Wordの基本③(各種機能の紹介、簡単な文書作成など)
【前期】 17～19回目	■前期試験: Officeソフトウェアの機能や部位の意味・名称に関するペーパーテストおよび与えられた指示通りのExcel/Wordファイルが作成できるかどうかを問う。
【後期】 20～23回目	Microsoft Wordの基本④(レイアウト要素の確認)
【後期】 24～27回目	Microsoft PowerPointの基本①(ファイルの作成、保存、簡単なプレゼンテーションなど)
【後期】 28～31回目	Microsoft PowerPointの基本②(プレゼンテーションについて)
【後期】 32～35回目	Excel/Word/PowerPointの適切な用途について総復習。
【後期】 36～37回目	■後期試験: 実技試験のみ(Word/Excel/PowerPoint) 与えられた指示通りのExcel/Word/PowerPointファイルが作成できるかどうかを問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解/PC操作」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Word/Excel/PowerPointは、業界を問わず世界中のビジネスで標準的に使われているOfficeソフトウェア群です。この講義を受講することで、仕事をする上で欠かせないコンピュータによる文書作成ノウハウを身につけることができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	イベント制作知識 I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ドラマアシスタントプロデューサー、音楽系マネージャー歴3年、俳優系マネージャー歴6年、映画アシスタントプロデューサー、タレントマネジメント歴21年経験。その経験を活かし、タレント・アーティストのスケジュール管理方法や著作権などのマネージャーに必要な基礎知識の講義を行う。				
授業概要					
<p>①自己の出身地の魅力を探り、その魅力にあったイベントを企画。</p> <p>②文化、歴史、観光、人文を世界に発信することを新たな地域おこしと、観光資源につなげ、若者世代の音楽を軸に、日本のお家芸であるサブカルチャーを世界の共通言語と位置づけ、言葉を越えたイベントを企画制作から実施を各自治体への提案書を作成。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・観る側から作成する側への視点の移行による、新たな発見と価値観の変化が第一目標。 ・ネットによる最新情報収集と共に、過去の文献をひもとき、経験者、有識者の文献を読み解き、専門知識を身につける。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	企画書、稟議書、プレゼンテーション概要学習。
【前期】 5～8回目	個々にプランの方向性を模索。
【前期】 9～12回目	実際に企画書を作成。
【前期】 13～16回目	実際に企画書を修正。
【前期】 17～19回目	■前期試験:プレゼンテーションによる実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	効果的な宣伝方法について。
【後期】 24～27回目	アーティスト、関係各所との交渉について。
【後期】 28～31回目	イベントにおける予算の考え方について。
【後期】 32～35回目	実際に予算計画書の作成・修正。
【後期】 36～37回目	■後期試験:プレゼンテーションによる実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	知識、情報を自らの方法と手段で会得する発想を身につけ対象生徒、全員参加による相互の意見交換と収集した情報から他者と自らの発想の相違点に気づき、柔軟性のある思考を身につけることができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プロダクト開発 I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	プロダクト開発 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	フリーランスとして10年以上に渡りデザイン事務所、Web制作会社や雑誌編集部において様々なデザインやマーケティングに関する業務に携わる。 上記の経験を活かし音楽業界におけるグッズの商品開発及びマーケティングに関する実技指導を行う。				
授業概要					
<p>①イラストレータのスキル・グッズ制作に適したデザインを身につけながら、何をいくらで売れば良いかなどのリサーチ力も養うことで、なるべく実践向きの感覚を育てる。</p> <p>②費用対効果の高いグッズ作成スキルと考え方を身につける。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・グッズ作成をするだけでなく、なぜデザインが必要なのか？なぜ高いデザインスキルを身に付けなくては行けないのか？というマインドを育てる。 ・グッズ作成をする上で必要な幅広い知識を身につけ、マーケティングの知識、SNSでの発信方法、またそれに伴う影響力も学び考えることで、プロダクト開発という枠を「広報の知識」と広域に捉え、より実践的なスキルが身につくことを目指す。 ・イラストレーターでの簡単なデザイン作成。一般的なマーケティング知識を身につける。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	広告・マーケティングとは何か？ 予算がなければ動かせない。
【前期】 5～8回目	デザインの基礎知識。プロミュージシャンはどんなデザインのものを買っているか？(リサーチ)
【前期】 9～12回目	実際にデザインに触れてみる。企画力を養う。
【前期】 13～16回目	デザインと企画を体感してみる。SNSの活用法を学ぶ。
【前期】 17～19回目	■前期試験：前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 20～23回目	イベントを企画する。
【後期】 24～27回目	名刺のデザインとセルフブランディング。
【後期】 28～31回目	セルフブランディングを活かして自分のロゴを作る。
【後期】 32～35回目	学校のオフィシャルグッズを手がける。
【後期】 36～37回目	■後期試験：記述式試験を実施。仮想バンドの立ち上げ、活動内容などまで細かく設定させることで、イメージ力を評価する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	グッズ作成をする上で必要な幅広い知識を身につけ、マーケティングの知識、SNSでの発信方法、またそれに伴う影響力も学び考えることで、プロダクト開発という枠を「広報の知識」と広域に捉え、より実践的なスキルを身につけることができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	広告デザイン I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	デザイン I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 企画制作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	<p>絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く制作。 作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、デザイン系専門学校講師兼任。</p>				
授業概要	<p>Adobe Illustrator、Photoshopの基本操作や応用方法を身につけ、DTPについて実習を行う。 Adobe Premiere Proを使用し、学内イベントのLIVE映像の編集技術を身につける。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・DTPに必要なPC技術を学ぶ。 ・フライヤーやグッズなど入稿作業を身につける。 ・色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。 ・作りたいものをそのまま形にすることが出来る。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	「Illustrator 基本操作・練習問題」図形・柄・複製等。
【前期】 5～8回目	「ネームプレート制作」オープンキャンパス時に実際に使用されることを想定し、制作する。
【前期】 9～12回目	「Photoshop 基本操作・練習問題」写真の切り抜き・レタッチ等。
【前期】 13～16回目	「コラージュ」的確に選択ツールを使いこなし、解像度やカラー補正を行う。
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技試験「ツアーフライヤーデザイン」 文字組みやアウトライン等、入稿を意識したデータ作り。
【後期】 20～23回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・不透明度・エフェクトの種類等。
【後期】 24～27回目	「テロップ入れ」文字デザインから走り書きアニメーションまで。
【後期】 28～31回目	「ステッカー製作」手描きのイラストをPhotoshopで加工、原寸データの作成、パッキングまで。
【後期】 32～35回目	「ロゴマークデザイン」架空店舗のロゴを製作。完成後、写真に合成をする。
【後期】 36～37回目	■後期試験:実技試験「メニュー表制作」 文字の優先順位を考え、装飾まで制作する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Adobe Illustrator・Photoshopは、フライヤー制作や写真の加工をベースに、アイコン・ヘッダーの作成から動画の素材等、幅広くデザインすることが出来ます。よって、どのような業界であってもAdobeソフトを扱えることは大変武器になります。様々な制作物に取りかかる中で操作を覚えることはもちろん、デザインコンセプトまで説明出来るよう考えながら制作していきます。
使用教科書	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作 I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	企画制作 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	(株)Applause代表、米国広報プログラムによりニューヨークにおいて'92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて福岡のダンスヴォーカルユニット、モデルや俳優の育成からマネジメントまで幅広く活動中。 上記の経験を活かし企画制作における実践指導を行う。				
授業概要					
<p>①音響、照明、ローディーチームを意見交換することで、その専門性を活かし、また制作陣の納得と観客の感動が、同一価値観で結びつく内容を企画する。</p> <p>②創作側、演者側の心情まで授業を通じて迫り、今後のアーティストを支える制作業務として大きな経験を積む。</p>					
到達目標					
<p>・イメージする内容を、白紙から創造、具現化する道程の困難さと、喜びを体感し、その作品が、高品質なエンターテインメントであるということを学ぶ。</p> <p>・音響、照明、ローディー、マネージャーなどと共同による白紙からの企画制作、制作側から演者側に内容を提案、制作陣が強い結束するためのフィールドワークとプロセス重視、出来上がった作品の完成度2グループによる企画、構成、演出を経験する。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	イベントの基礎知識。
【前期】 9～16回目	前期企画イベントのアーティスト選定。
【前期】 17～24回目	アーティスト～交渉、クラス内の体制作り。予算作成、概要作成、時系列作成、広報資料作成。
【前期】 25～32回目	イベント当日に向け、イベント内容を吟味し、台本等資料作成。出演者資料作成。制作(音響、照明)チームへの連絡。
【前期】 33～37回目	■前期試験:プレゼンテーションによる実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 38～45回目	前期企画イベント終了を受けて検証。
【後期】 46～53回目	後期企画イベントのアーティスト選定。
【後期】 54～61回目	アーティスト～交渉、クラス内の体制作り。予算作成、概要作成、時系列作成、広報資料作成。
【後期】 62～69回目	イベント当日に向け、イベント内容を吟味し、台本等資料作成。出演者資料作成。制作(音響、照明)チームへの連絡。
【後期】 70～74回目	■後期試験:プレゼンテーションによる実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	大胆な発想の企画を具現化する為には、周囲の賛同とともに多大なエネルギーを必要とするが、粘り強く考え、会話し、前進することで、実現可能という経験を身につけることができます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワーク I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ヤマハ音楽振興会 StudioUIにて長年レコーディングエンジニアとして従事した後、現在は様々なイベントにおいて制作業務や舞台監督として活躍。これまでポピュラーソングコンテスト、世界歌謡祭やドイツのドレスデン室内楽団など国内、国外問わず他多数のイベントに携わる。 上記の経験を活かしステージ制作/運営における仕込みからバラシまでの実技指導を行う。				
授業概要					
<p>①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。</p> <p>②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。</p>					
到達目標					
<p>・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。</p> <p>・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	音楽スタッフとは？音楽スタッフの現状、舞台用語、楽器名称などの基礎知識。
【前期】 9～16回目	制作スタッフの立ち位置、ローディー、照明、舞台制作とのコミュニケーションなど。
【前期】 17～24回目	4バンド程度の実習、タイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【前期】 25～32回目	LIVeweekに向けての各セクションとの打合せ、STAGE PLOTの回収、各オペレーターに依頼、打ち合わせ。
【前期】 33～37回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 38～45回目	前期試験の復習、2バンドのタイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【後期】 46～53回目	授業内で行った実習に対して反省及び改善。
【後期】 54～61回目	実際にトラブルを起こし、対処する。(機材トラブル等)
【後期】 62～69回目	4バンド、ダンスやパフォーマーなどがあるフェスの想定のもとにタイムスケジュール作成、進行、舞台監督、撤収作業など。
【後期】 70～74回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。